

マイクロソフト、グーグルやオープン AIに対抗する新AIモデル準備

山口翔矢

概要

- 米マイクロソフトは、アルファベット傘下のグーグルやオープンAIと競合するのに十分な規模の新しい人工知能(AI)言語モデルを社内で訓練していると報じた。マイクロソフト社内で「MAI-1」と呼ばれる新モデルは、3月に採用されたムスタファ・スレイマン氏が監督している。スレイマン氏はグーグル・ディープマインドの共同創設者で、AIスタートアップ企業、インフレクションAIの最高経営責任者(CEO)も務めた。



コメント

- 生成AI合戦時代に突入しましたね。
- 最近だと元OpenAIのメンバーが開発したClaudeなどなども出てきておりそれぞれ強みが違っており、企業はどのサービスが相性がいいのか、どのサービスを使うと効率化に繋がるか迷われるのではないのでしょうか。
- 人々はAIをどれかひとつだけを利用するわけではなく、ケースバイケースで使い分ける。マイクロソフトも自社のアプリケーションがさらに利用しやすくなるAIをリリースすれば他のAIに対して差別化できる。

感想

- ・様々なIT企業が生成AIの開発競争を行っていく中で機能向上だけでなくどのような差別化がされるのかが楽しみである。
- ・生成AIが進化して行くにつれ、AIが生み出したものと人間が考えたものが見分けがよりつかなくなると思うのでAIの悪用を取り締まる新たな規制が必要なのではないかと思った。